

問1 日本の北方に位置する地域に古くから居住する先住民族と、その文化に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 山形公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 北海道や千島列島などを主な居住範囲とし、シリエトク（知床）などの地名の由来にもなっている独自の言語を持つ。 | 2. 沖縄などの南西諸島を中心に独自の王国を築き、中国や東南アジアとの中継貿易によって繁栄した。 | 3. 古代に朝鮮半島や中国大陆から移住し、日本列島に稲作や青銅器・鉄器などの進んだ技術を伝えた。 | 4. 平安時代以前に東北地方に住み、朝廷の支配拡大に対して抵抗を続けたことで「蝦夷（えみし）」と呼ばれた。 |
|--|--|--|---|

問2 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 1. 土偶 — 豊かな収穫や安産を祈るため | 2. 埴輪 — 亡くなった王の権威を示し、供養するため | 3. 銅鐸 — 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため | 4. 勾玉 — 魔除けや身分を示す装飾品とするため |
|-----------------------|-----------------------------|----------------------------|---------------------------|

問3 縄文時代の人々の生活や文化について、食料の確保方法とその際に用いられた道具の組み合わせとして最も適切なものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 狩りや採集で得た食料を煮炊きしたり保存したりするために、縄目などの文様がついた土器が用いられた。 | 2. 本格的な稲作が始まり、収穫した米を保存するための高床倉庫や、祭祀のための銅鐸が用いられた。 | 3. 大陸から伝わった青銅器や鉄器を使い、大規模な開墾を行うことで、余剰生産物を蓄えるようになった。 | 4. 牛馬を利用した耕作や二毛作が広まり、収穫した作物を都市の市場で売買する生活が一般的となった。 |
|---|--|--|---|

問4 縄文時代の人々が、遮光器土偶に見られるような独特な形をした土製品を多く製作した理由として、当時の社会背景から考えられる背景はどれですか。（2026年 千葉公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自然の脅威や病気に対して、超自然的な力による解決や生命力の向上を祈る必要があったため。 | 2. 強力な王が国を統一し、自分の権力を誇示するために同じ形の像を大量生産させたため。 | 3. 大陸との交易において、日本の特産品として輸出するための芸術性を追求したため。 | 4. 金属器がまだ普及しておらず、全ての調理器具や狩猟道具を土で作る必要があったため。 |
|--|---|---|---|

問5 縄文時代の遺跡から出土する、表面に縄目の文様が施されたり、大きな眼鏡のような目を持つ「遮光器土偶」などの土製品について、その当時の使われ方として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 千葉公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 食物の豊穡や安産、病気の回復などを願うための、呪術的な道具として使われた。 | 2. 亡くなった豪族の墓である古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めるために使われた。 | 3. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、寺院の内部を飾るための仏像として使われた。 | 4. 稲作が普及した社会において、収穫した米を保存するための頑丈な容器として使われた。 |
|--|--|--|---|

問6 佐賀県の東名遺跡（ひがしみょういせき）では、約8千年前の地層から植物の繊維で編まれた国内最古級の「編みかご」が発見されました。このような発見から推測される、当時の人々の生活習慣や信仰に関する記述として正しいものを次の中から選んでください。（2019年 佐賀公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自然の恵みに頼った生活を送っており、魔よけや豊かな収穫を祈るために土偶（どぐう）が作られた。 | 2. 有力な王が各地を支配しており、その権力を象徴するために巨大な前方後円墳が造られた。 | 3. 大規模な灌漑設備を整えて稲作を行い、村同士の争いに備えて周囲に堀を巡らせた環濠集落で暮らした。 | 4. 仏教の教えが広まり、国家の安泰を願って各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 |
|---|--|--|--|

問7 縄文時代の遺跡から多く発見される、当時の人々が定住生活を始めたことを示す遺構について、地面を掘りくぼめた床に柱を立て、屋根をかけた住居を何と呼ぶか答えなさい。（2017年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 竪穴住居 | 2. 高床倉庫 | 3. 寝殿造 | 4. 書院造 |
|---------|---------|--------|--------|

問8 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。（2016年 富山県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。 | 2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。 | 3. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。 | 4. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。 |
|--|---|---|---|